

## ◆（仮称）印西市歴史文化施設の基本方針の検討

## 1. 歴史文化施設をとりまく課題

(1) 印西市の現状と課題	(2) 歴史・収蔵施設の現状と課題	
<p>a. 印西市、印旛村及び本埜村の合併により誕生した新印西市としての歴史・文化の共有と新たな市民アイデンティティの確立が必要である。</p> <p>b. 流入人口の増加により、多様な歴史・文化的背景を持つ市民の郷土意識の涵養が求められている。</p> <p>c. 地域の歴史・文化的な地域景観や歴史文化資源の継承と、これらを活かしたまちづくりの推進、観光資源としての活用が求められている。</p> <p>d. 人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の流行などによる社会の転換期において、市民がより活動しやすい環境づくりに対する市民ニーズが高まっている。</p> <p>e. 生涯学習施設に対するサービスの維持・向上が求められている。</p> <p>f. 歴史資料の整理及びデジタル化を進め、多様な方法で資料にアクセスできる環境整備が必要とされている。</p>	<p>①現状</p> <p>①印西市立印旛歴史民俗資料館（昭和61年10月開館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方式：直営（所管：生涯学習課）</li> <li>・職員体制：館長1名、学芸員資格者1名</li> <li>・概要：旧印旛村の歴史と文化を伝え、地域住民の郷土の歴史・民俗文化への理解と知識を深めるため設置。旧印旛村で収集した民具を中心に、古文書・考古資料・地学資料・印旛沼関連資料等を収蔵・展示</li> <li>・入館者数：720人（平成30年度）</li> </ul> <p>②印西市立木下交流の杜歴史資料センター（平成28年4月開館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方式：直営（所管：生涯学習課）</li> <li>・職員体制：所長1名、学芸員資格者1名、事務職2名、市史編纂の作業をするパート職員2名</li> <li>・概要：木下地区周辺の原始から近代までの考古・歴史資料を展示市史編纂業務を推進。古文書・歴史的公文書・具化石資料を収蔵</li> <li>・入館者数：3,627人（平成30年度）</li> </ul> <p>③資料整理作業所（平成11年4月開所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方式：直営（所管：生涯学習課）</li> <li>・概要：資料保管庫として利用 旧印西市の考古資料を中心に、民具、図書等を収蔵</li> </ul> <p>④印西市立印旛医科器械歴史資料館（平成19年4月開館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方式：指定管理（指定管理者：一般財団法人日本医科器械資料保存協会）（所管：企画政策課）</li> <li>・概要：全国から収集した医科器械1,000点を展示。宗像地区の倉庫で関連資料を保管。展示資料・関連資料ともに一財の所有</li> <li>・入館者数：338人（平成30年度）</li> </ul>	<p>②課題</p> <p>a. 施設・立地に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[①資料館]は開館後36年、[④医科器械]は建設後45年が経過し、老朽化が進行している。</li> <li>・[①資料館]の敷地は、一部借地である。</li> <li>・[③作業所]は一階と二階で文化財を保管しているが、浸水区域にあり、進入路も狭いため、浸水時に被災する恐れがある。</li> <li>・[①資料館][③作業所]は、利便性の悪い場所に立地している。</li> </ul> <p>b. 収集・保存に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵庫や展示施設が狭く、温湿度調整機能などの設備も不足している。</li> <li>・資料は旧市村ごとに分散保管しているため、総合的な歴史把握がしにくい状況となっている。</li> </ul> <p>c. 調査・研究に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が自主的に学習したり、成果を発信したりする機会や場所が確保できない。</li> <li>・印西市全体の歴史・文化を市民等に広く伝えるために必要な学芸員による調査・研究の実施に十分な施設や体制が構築されていない。</li> </ul> <p>d. 展示・公開に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[①資料館][②歴史資料センター]の展示は、合併前の一部地域の紹介にとどまっており、印西市全体の展示になっていない。</li> <li>・企画展を行うための展示室がなく、小規模な企画展示しか実施できない。</li> </ul> <p>e. 教育・普及に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土学習を必要とする児童・生徒の受け入れに適した設備がない。（学習空間・機能・大型バスの駐車スペース、食事スペース等）</li> <li>・生涯学習の機会についても同様に、受け入れに適した設備がない。</li> </ul>

既存の施設・機能では、市民や来訪者が印西市の歴史・文化を体系的に学ぶことが困難な状況にある

<主要課題>

- ◎ 所蔵資料の安全な保存環境、一元的な管理
- ◎ 市民による学習・発信機会
- ◎ 印西市全体の歴史・文化の学習機会
- ◎ 子どもや学校団体への対応

## 2. 基本理念の検討

### (1) 歴史文化施設に関わるキーワード

歴史文化施設が担う役割に関するキーワード	
※太字：第1回基本計画策定委員会で出たキーワード	
・ <b>育つ</b> ・育てる・育む	・ <b>回遊</b>
・ <b>守る</b> ・継承する	・ <b>交流</b>
・ <b>掘り起こす</b> ・再発見する	・ <b>ハブ</b> ・拠点・中核
・ <b>発信する</b> ・伝える	・ <b>市民の要望に応じていく</b>
・ <b>つなぐ</b> ・つなげる	・ <b>身近な施設</b>
・ <b>過去と未来とつながる</b>	・ <b>市民とともに成長する</b>
・ <b>未来</b>	

印西市の将来像に関するキーワード	
「印西市総合計画」より抜粋	「第2期教育振興基本計画」より抜粋
・ 住みよさ実感都市 <b>ずっと</b> このまち <b>いんざい</b> で	・ <b>だれもが輝き</b> ともにはばたく
・ <b>誰もが安心して</b> 明るく暮らせる	・ <b>未来を拓く</b> 子どもを育む
・ <b>誰もが心に豊かさ</b> をもたらす	・ <b>市民が学びあい</b> ・活かしあう
・ <b>活力あふれる</b>	・ <b>地域に誇り</b> と愛着が持てる
・ <b>自然と都市が調和</b> する	・ <b>すべての市民の健やかな心</b> を育む
・ <b>快適で人にやさしい</b>	
・ <b>持続可能</b>	

### (2) 基本理念（例）

- ①歴史・文化と人をつなぎ、市民とともに未来を拓く交流拠点
- ②市民とともに印西の歴史に学び未来を創る、歴史文化の中核拠点
- ③歴史・文化を通して、市民とともに成長するミュージアム
- ④豊かな風土と人が紡いだ印西の歴史を守り伝え、心豊かな未来を育む市民ミュージアム
- ⑤印西の歴史・文化を学び、未来のくらしを探る、未来共創ミュージアム

## 3. 事業活動方針の検討

### (1) 事業活動方針（案）

#### ○市民が「学ぶ」

- ・ 市民自ら印西市の歴史・文化について学ぶ機会を創出します。
- ・ 市民とともに印西市の魅力となる歴史・文化の掘り起こしを行います。
- ・ 未来の市民へ印西市の宝である歴史・文化を確実に継承します。

#### ○市民が「楽しむ」

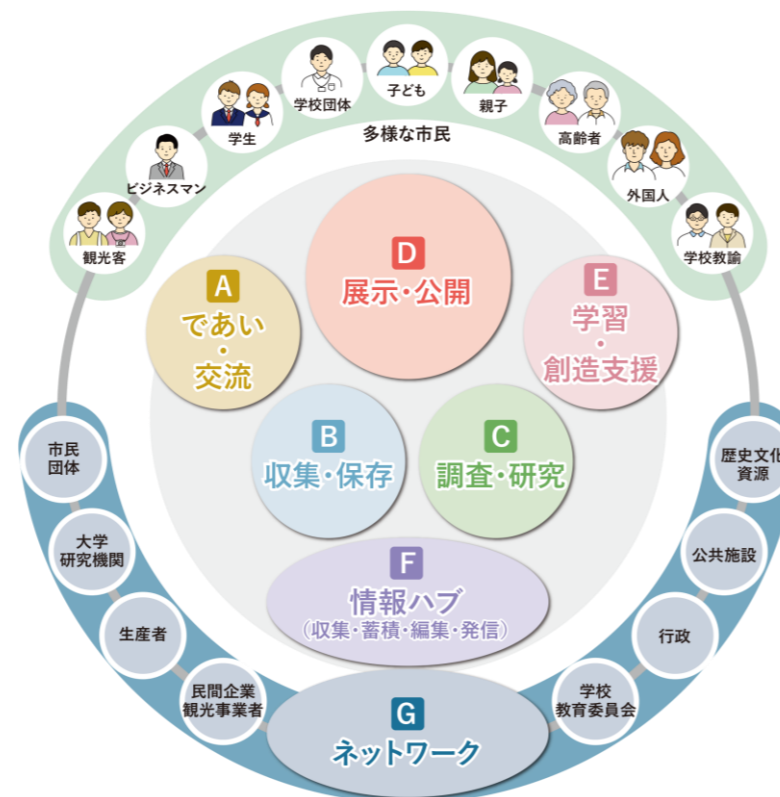
- ・ 市民や来訪者、子どもから大人までが印西市の歴史・文化に触れ、魅力を体感する機会を創出します。
- ・ 多様な人びとが印西市の歴史・文化を通して交流する機会を創出します。

#### ○市民が「輝く」

- ・ 印西市の歴史・文化を通して、市民が生き生きと活動する機会を創出します。

### (2) 事業活動の考え方

【事業活動の展開イメージ】



#### A であい・交流

- ・ 多様な市民が気軽に参加できる交流の場を備え、イベント等を開催します。
- ・ 来訪者に印西市の魅力を発信します。

#### B 収集・保存

- ・ 安全な保存環境や保存体制を整え、収集資料を確実に未来へ継承します。
- ・ 印西市の歴史・文化を語るために必要な資料を収集します。

#### C 調査・研究

- ・ 印西市の歴史・文化に関する調査・研究を行います。
- ・ 調査・研究を通して市民アイデンティティの確立に寄与する情報を抽出します。

#### D 展示・公開

- ・ 「誰もが印西市全体の歴史・文化を理解できる」展示を行います。
- ・ 印西市の歴史・文化について深く理解できる展示や講座等を開催します。

#### E 学習・創造支援

- ・ 子どもから高齢者まで、いつでも気軽に学べる場や成果を活かした発表イベント等を開催します。
- ・ 市民主体による新たな創造に向けた取組を支援します。

#### F 情報ハブ（収集・蓄積・編集・発信）

- ・ 印西市の歴史・文化に関わる情報を一元的に収集・蓄積します。
- ・ 情報を活かして、新たな活動の創出・展開を支援します。

#### G ネットワーク

- ・ 多様な機関・団体と連携した活動を展開します。
- ・ 新たな活動を生み出そうとする多様な主体を支援します。

### （3）事業展開と利用者像ごとの利用イメージ

#### 【多様な市民による利用イメージ】

市民や来訪者、子どもから大人まで幅広い利用者像に応じた事業を展開します。

利用者	利用イメージ
親子・子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの年齢に応じた体験・学習により、地域の歴史・文化に触れる</li> <li>・幼児の頃から安全な遊び場として利用する</li> <li>・放課後の遊び場として、地域の歴史・文化に親しむ</li> <li>・夏休みの課題などの学習サポートを受ける 等</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史を学ぶ公開講座など、生涯学習の場に参加する</li> <li>・ガイドボランティアへの参加により、生きがいを得る</li> <li>・多様な世代の人々と交流する 等</li> </ul>
在住外国人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語解説で印西市の歴史・文化を知る</li> <li>・人々との交流を通して、地域コミュニティとつながる 等</li> </ul>
観光客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら、印西市の全体像を把握する</li> <li>・印西市の魅力を知って、市内を周遊するための情報を得る 等</li> </ul>
学校団体・ 学校教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習の場として利用する</li> <li>・カリキュラム作成のサポートを受ける 等</li> </ul>
学生・ ビジネスマン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館実習を受ける</li> <li>・自身の研究・開発について、役立つ情報や専門家によるサポートを得る 等</li> </ul>

#### 【多様な機関・団体との連携イメージ】

多様な機関や団体と連携し、それぞれの情報やノウハウを活かした活動を展開します。

利用者	連携イメージ
市民団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化施設の専門的知見を活かして、活動の充実を図る</li> <li>・活動の場として歴史文化施設を利用する 等</li> </ul>
大学研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化施設の情報を活用して共同研究をする 等</li> </ul>
生産者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内等で地場産品を販売する</li> <li>・地場産品を活かしたミュージアムグッズを開発する</li> <li>・歴史文化施設の情報を活かした新たな商品を開発する 等</li> </ul>
民間企業・ 観光事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の場として利用する</li> <li>・文化観光の拠点として利用する 等</li> </ul>
学校・ 教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習として歴史文化施設を利用する</li> <li>・歴史文化施設からの出前授業を実施する</li> <li>・学校教育への支援（学習プログラム・教材等の開発）を受ける 等</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な行政分野において、情報発信や市民連携事業等を行う場として活用する</li> </ul>
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化施設の情報や資源を活かし、公共施設での展示や学習機会を創出する 等</li> </ul>
歴史文化資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化施設の知見や情報を活かして、所有者や管理者へのサポートを行う</li> <li>・歴史文化資源に光が当たり、多くの人々に親しまれる</li> <li>・歴史文化施設の活動を通して新たな歴史文化資源が掘り起こされる 等</li> </ul>